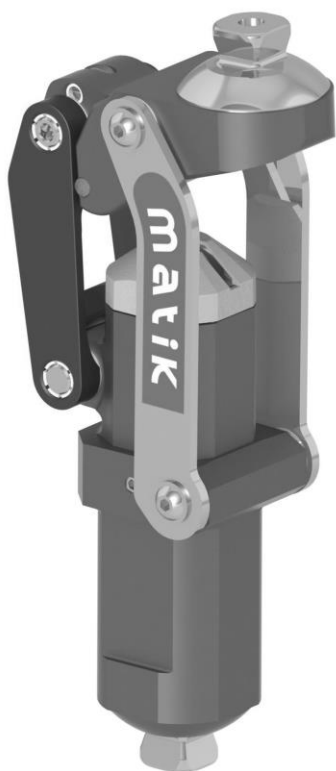
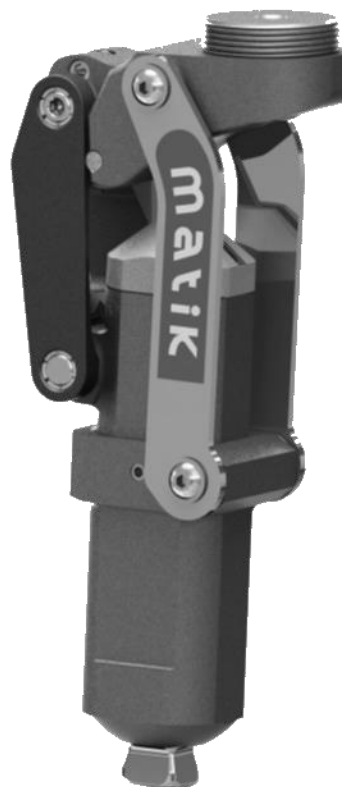






## 4 節リンク空圧膝継手 matik 1P200 / 1P200-KD 取扱説明書



IP200



IP200-KD

-  組立不良や不適切なアライメント設定、保護カバーなしで非常にホコリの多い環境での使用、その他不適切な使用による故障の場合は保証範囲外となります。
  
-  膝継手に指や衣服を挟まないよう、フォームカバーを使用されることを強くお勧めします。真水、海水、酸など膝継手の金属部品の腐食を引き起こす可能性があるような使用や保管はおやめください。  
転倒などによる大きな衝撃、あるいは膝継手の異常な動きや音、ガタつきなどが見られた場合は義肢装具士に相談ください。

## 1P200 / 1P200-KD 4 節リンク空圧膝継手の組立と調整要領

本製品は、義足膝継手として設計されています。義足膝継手以外の使用はしないでください。

- !** 本製品は、低活動から中活動の方に適しています。使用者の体重は 125 kg です。  
(荷物等を持った場合、その重さも含まれます。)

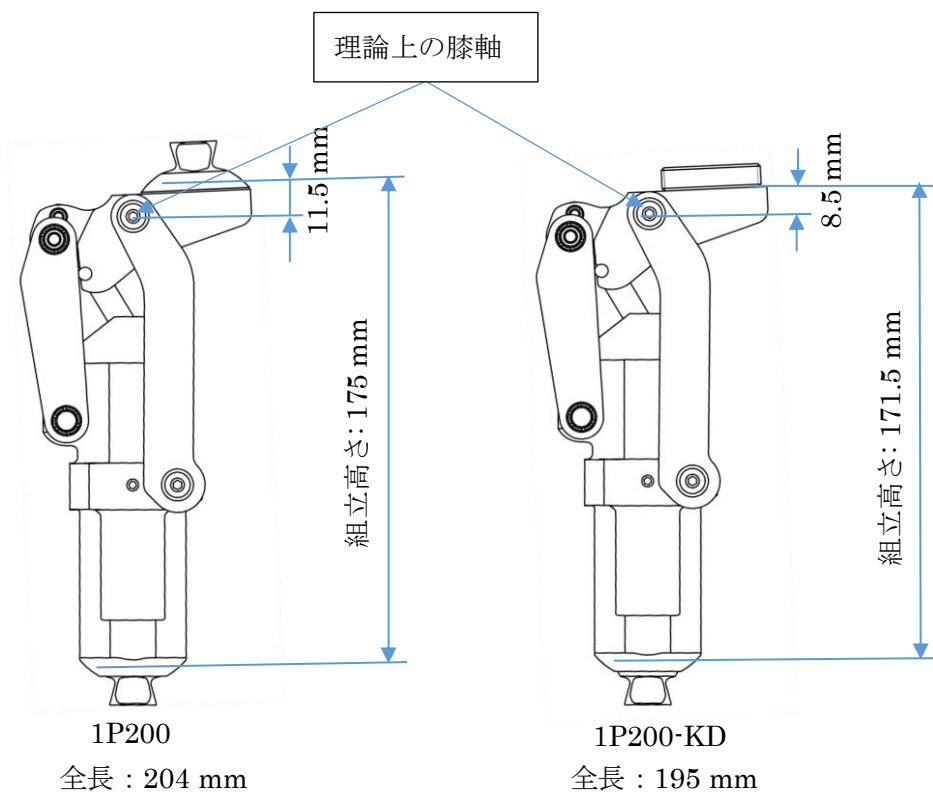
### <特徴>

- ・立位時は、瞬間回転中心が上部・後方にあるため高い安定性を確保します。
- ・トゥクリアランスが十分に確保され、歩行時のつま先の引っかかりが低減されます。
- ・着座時の膝の出っ張りが大幅に少なくなります。
- ・歩行調整は、2カ所の調整バルブによって屈曲と伸展の衝撃吸収を別々に調整できます。
- ・膝継手の重量は 743 g です。
- ・最大膝屈曲角度は 170° です。

(但し、膝曲げ時に膝継手がソケットにあたる場合はこの限りではありあません。)

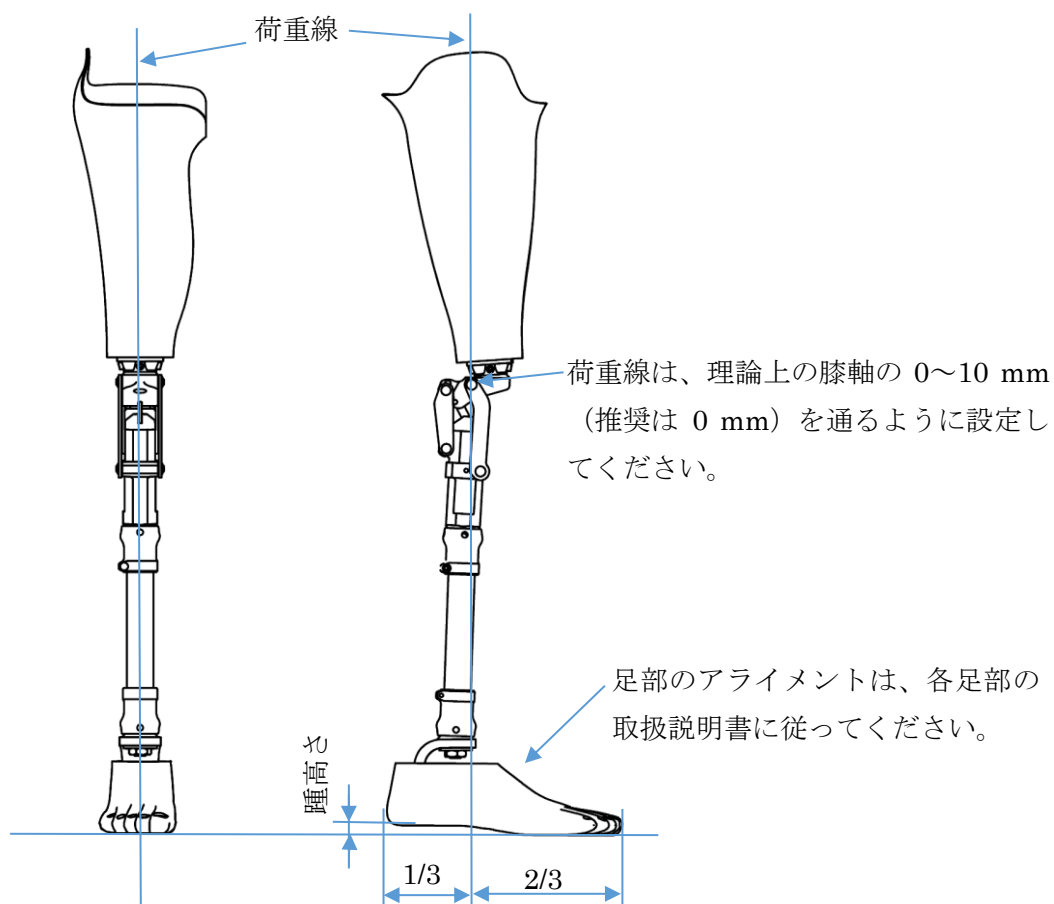
### <組立>

本膝継手には、ピラミッドタイプ 1P200 (大腿義足、股義足に適用) とスクリーントップタイプ 1P200-KD (大腿義足長断端、膝義足に適用) の2つのタイプがあります。

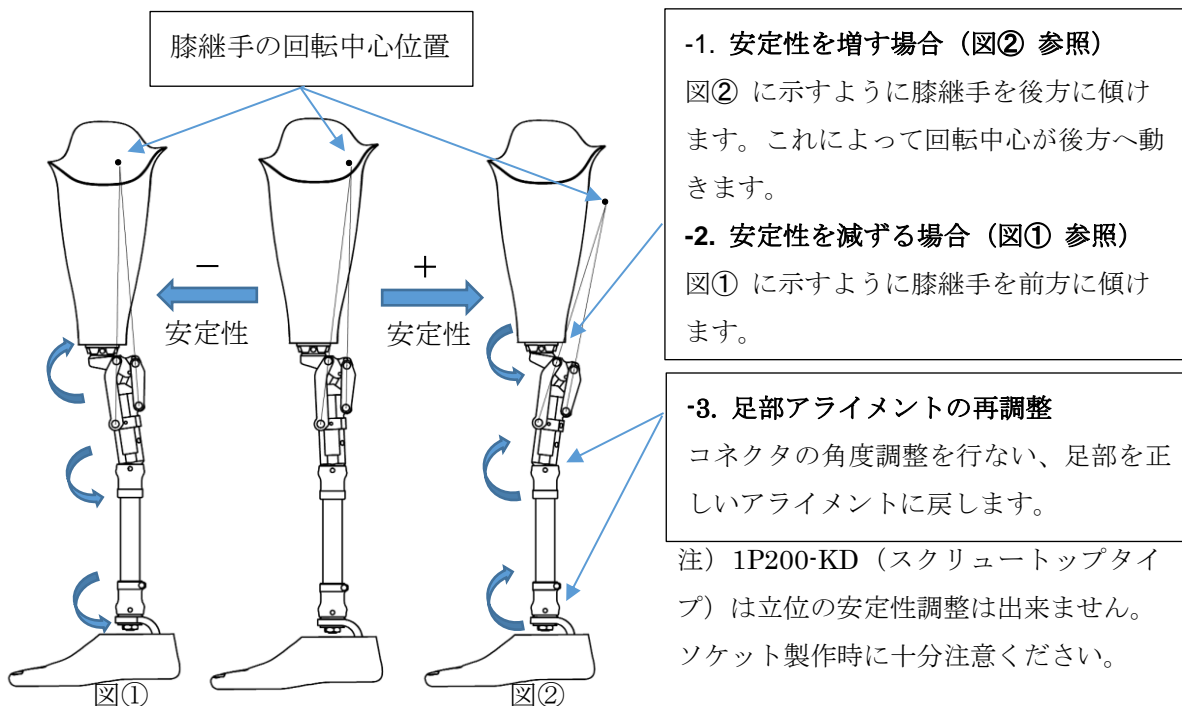


## 1. 義足組立時の推奨アライメント

3/5



## 2. 立位の安定性の調整



### 3. 遊脚相の調整

1P200 / 1P200-KD はノーマルの歩行速度で調整を行います。

歩行速度の調整には 2.5 mm の 6 角レンチを使用してください。

#### -1. 屈曲抵抗の調整


ヒールライズを抑えるための屈曲抵抗は右図の調整バルブ (F) で行います。

- ・ 屈曲抵抗を減らす (ヒールライズを抑える) 場合  
⇒ 調整バルブ (F) を時計方向に回してください。
- ・ 屈曲抵抗を増やす (ヒールライズを増やす) 場合  
⇒ 調整バルブ (F) を反時計方向に回してください。

#### -2. 伸展抵抗の調整

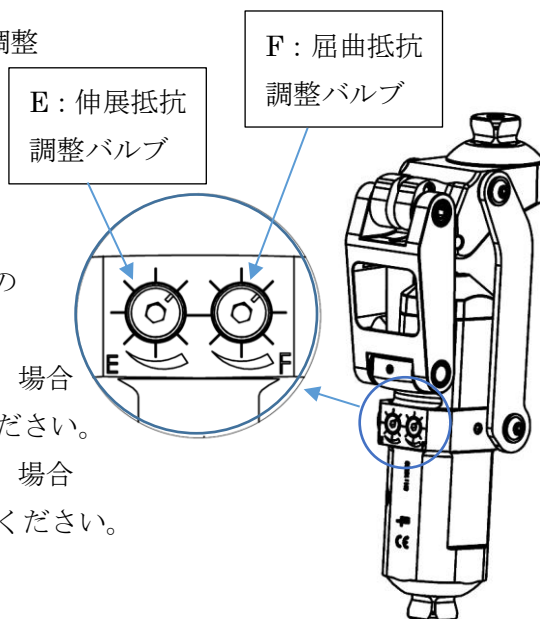
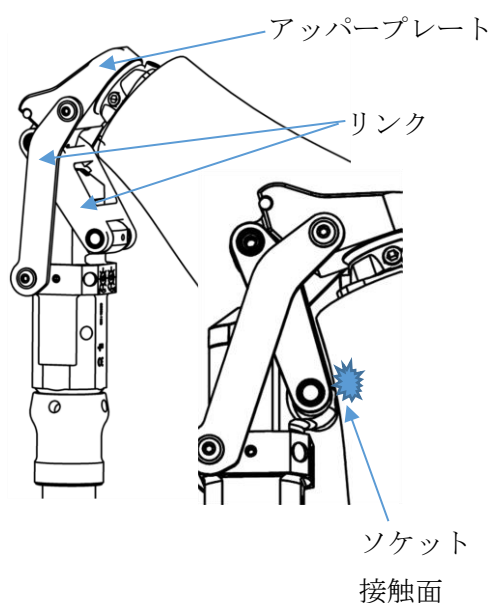
伸展時の膝の衝撃 (ターミナルインパクト) の調整は右図の調整バルブ (E) で行います。

- ・ 膝の衝撃 (ターミナルインパクト) を減らす場合  
⇒ 調整バルブ (E) を時計方向に回してください。
- ・ 膝の衝撃 (ターミナルインパクト) を増やす場合  
⇒ 調整バルブ (E) を反時計方向に回してください。

 伸展抵抗の調整が終了した時点で、膝が完全に伸展することを確認してください。膝が完全に伸展していない場合は転倒の危険性があります。


### 4. 膝屈曲角度の確認


ユーザーがしゃがんだり跪いたりした時に、ソケットが後部下側のリンクにのみ当たるようにして、ソケットが後方リンクやアッパープレートに当たらないようにしてください。膝継手を損傷する可能性があります。




## 5. メンテナンス

- ・膝継手の機能について1年に1回は確認をしてください。そして必要に応じてメンテナンスをお願いします。
- ・伸展ストッパーゴムEE014は2個必要です。

 フォームカバーとの擦れ音防止にはシリコンスプレーを使用ください。  
タルクパウダーは機械部品を痛める原因となり、膝継手の機能に影響を及ぼすと共に装着者の転倒につながる危険性があります。

 調整バルブ（E）と（F）を除いて、膝継手のネジを緩めたり、外したりしないでください。膝継手の故障の原因となります。

 膝継手のベアリング部にグリースを塗布しないでください。故障の原因となります。

### 【製造元】



6, rue DE LA REDOUTE

Z.I. SAINT-APOLLINAIRE B.P. 37833 - 21078 DIJON

CEDEX - France

PHONE : +33 3 80 78 42 10

FAX : +33 3 80 78 42 15 - [www.proteor.com](http://www.proteor.com) -

### 【発売元】



株式会社プロテオールジャパン

〒652-0884 神戸市兵庫区和田通1丁目2-25 神戸市ものづくり工場C棟503

TEL 078-515-6663

FAX 078-515-6689

URL <http://proteor-japan.jp/>